

# 奈良県健康長寿共同事業の実施状況

資料 4

- ・広域連合と県からの負担金(各1/2)で運営  
H29予算:18,540千円
- ・広域連合内に事務局を設置

**奈良県健康長寿共同事業実行委員会**  
(H23.4.8 設立、会長:後期高齢者医療広域連合長)  
**高齢者の健康維持・増進に向けた取組を推進**

「なら健康長寿基本計画」等県健康長寿関連計画に掲載

研究

## 取組方策研究事業

連動

## 地域巡回指導・普及啓発事業

実践

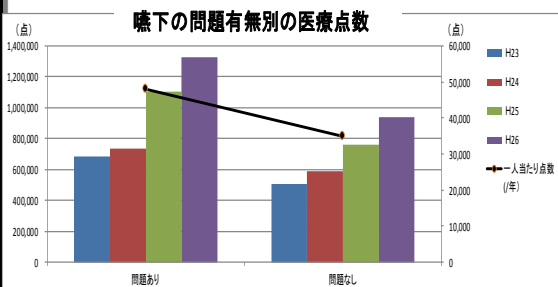
「有識者会議」で高齢者の症状に応じた予防改善方策を研究。

**研究テーマ:食べる能力と社会参加**

### 高齢者の口腔機能と心身の健康との関連性等を分析

- (1) 「口腔状態」と「物忘れ」や「身体の状態」等との関連について、県老人クラブ連合会会員のアンケート、医療費を突合し分析。
- (2) 今年度から、お口の健康診査受診者の口腔健診結果と医療費情報を突合し分析。
- (3) 「誤嚥にナラン！体操」の誤嚥性肺炎予防、転倒予防効果を調べるため、週1回実施グループと月1回グループの医療費情報を分析。

### 老人クラブ会員を対象にした調査の分析の一例



○平成23年度に嚥下に問題のある人と無い人の推移をみると、ある人のほうが医療点数が高く、その差は、広がっていく傾向が見られる。

### 誤嚥性肺炎予防の「誤嚥にナラン！体操」の考案

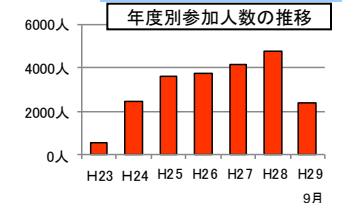
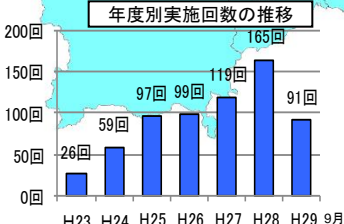
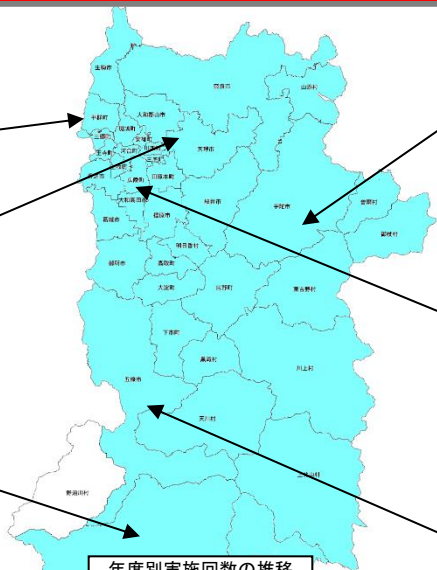
“飲み込む力”を保ち、“むせる力”を高め「誤嚥しにくい体」をつくり、同時に「転びにくい体」をつくる。



(例)腹斜筋運動

市町村、関係団体等と連携して地域における健康づくりに関する指導・普及啓発活動を展開。延べ38市町村内

**地域のニーズに合わせて専門人材、指導内容をオーダーメイド**



延べ656回  
21,757人参加  
(当初~H29年9月末)